

北海道NPO情報



NPO推進北海道会議
北海道NPOサポートセンター
北海道NPOバンク/NPOバンク事業組合
北海道NPO越智基金

発行 北海道情報宣伝研究会
札幌市中央区北4条西12丁目
1976年7月9日第3種郵便物認可
定価 100円

市民活動を支える制度を強化しよう！

【2006年8月号】

もくじ

ページ

NPO夏の北海道セミナー	2
コミュサボ/北広島NPO立上り&運営セミナー	3
スタッフ落書きコラム/9月会計講座	4
インド滞在記/NPOバンク融資8月申込	5
NPOブラッシュアップセミナー9月実施予告	6
江別市民活動センターオープン/栗山WS	7
ケアレコネット/NPO法人認証数	8
NPOサポート事業紹介/札幌はこび愛	9
NPOな...インフォメーション(書籍紹介など)	10
情報BOX	11
助成金情報	11~12



日本NPO学会・北海道NPOバンク共催

第1回「NPO夏の北海道セミナー」

NPOと自治体の協働を 具体的に考える

～1%支援税制、認定NPO法人、市民出資、NPOバンク～

開催日：2006年8月23日(水)10:00～17:45(18:00-19:30 懇親会)

開催場所：北星学園大学(札幌市厚別区大谷地)

セミナーのねらい NPOと自治体の協働が叫ばれはじめて久しいが、2006年時点の日本では、実効性のある協働の難しさを全国の市民団体と自治体の双方が確認するにとどまっている。また、研究者の多くが「協働」を研究テーマとしながらも、その茫漠とした研究領域に最適な分析枠組を見出せずにいる。今年の第1回「NPO夏の北海道セミナー」では、「協働による市民活動団体の財政支援」をサブテーマに、1%支援税制、認定NPO法人、市民出資、NPOバンクという4つの協働の実践事例を 具体的に検証する。困難突破の大いなるヒントを得るため、市民活動の実践者、自治体職員、研究者...が 丸一日、札幌でカンヅメとなり「協働」を 具体的に考えるインテンシブな討論セッションである。

主催：日本NPO学会・北海道NPOバンク 後援：NPO推進北海道会議

参加費：3,500円(懇親会に参加者しない方は1,000円)

日程：10:00開会 10:30～12:00 基調講演 宮脇 淳(北海道大学公共政策大学院長)

13:00 討論第1部：協働の「ウィキペディア」その1 ～NPOの税制を 具体的に考える～

15:00 討論第2部：協働の「ウィキペディア」その2 ～NPOの資金支援を 具体的に考える～

18:00-19:30 懇親会

[詳細は次ページ](#)

日本NPO学会・北海道NPOバンク共催第1回「NPO夏の北海道セミナー」

NPOと自治体の協働を 具体的 に考える～1%支援税制、認定NPO法人、市民出資、NPOバンク～

開催日 2006年8月23日(水) 10:00～19:30

開催場所 北星学園大学(札幌市厚別区大谷地) 札幌市営地下鉄東西線「大谷地(おおやち)」駅下車・徒歩5分

参加者 全国の自治体職員、研究者、NPO実践者、学生...等々

内容 午前は、各主催者あいさつにつづき、北大・宮脇淳先生の基調講演。トピックは1%支援税制や市民ファンドを中心に。午後は、協働の「ウィキペディア」づくりと称して、1部・2部併せて4つの単語を取り上げながら、パネリスト・フロアが一緒になって2006年夏・北海道版「協働のキーワード集」を相互編集的につくろう、というワークショップ型パネルディスカッション。

スケジュール 全体進行：大野麻理(さっぽろ村コミュニティ工房)

10:00 主催者挨拶：山内直人(日本NPO学会会長、大阪大学大学院国際公共政策研究科教授)

10:15 主催者挨拶：杉岡直人(北海道NPOバンク理事長、北星学園大学社会福祉学部長)

10:30 基調講演：「自治体とNPOの協働を考える」 宮脇 淳(北海道大学公共政策大学院長)

12:00～13:00(昼休み)

13:00 討論第1部 協働の「ウィキペディア」その1 ～NPOの税制を 具体的 に考える～

キーワード： 1%支援税制、 認定NPO法人

論点整理(冒頭30分)：佐藤隆(NPO推進北海道会議)

パネリスト(予定)：加納尚明(札幌チャレンジド) 佐藤 隆(NPO推進北海道会議)

森田麻美子(ボラナビ倶楽部) 山内直人(大阪大学)

モデレータ：樽見弘紀(北海学園大学)

14:45～15:00(休憩)

15:00 討論第2部 協働の「ウィキペディア」その2 ～NPOの資金支援を 具体的 に考える～

キーワード： 市民出資、 NPOバンク

論点整理(冒頭30分)：河西邦人(札幌学院大学)

パネリスト(予定)：上野昌美(公認会計士) 加藤知美(さっぽろ村コミュニティ工房) 河西邦人(札幌学院大学)

杉岡直人(北星学園大学) 杉山さかゑ(北海道グリーンファンド)

田口 晃(北海道NPO越智基金)

モデレータ：樽見弘紀(北海学園大学)

16:45～17:00(休憩)

17:00～17:45 Wrap-Up!

18:00～19:30 懇親会(ブッフェ・スタイル)

参加費：\ 3,500(懇親会ブッフェ込み)(貴重な交流の機会ですので、ぜひご参加下さい。万一ご都合により、懇親会にご参加できない方の参加費は\ 1000です。)

参加申込方法：件名を「NPO夏の北海道セミナー」参加申込とし、FAXまたはEメールで、お申込下さい。

FAX 011-261-6524 Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp

締切：2006年8月14日(月)必着

参加費は、当日セミナー会場受付にてお支払い下さい。

以下のフォームに入力の上、()内には 印をつけてください。

.....
第1回「NPO夏の北海道セミナー」参加申込書

- ・お名前(フリガナ)： _____ ・ご所属： _____
- ・日本NPO学会 会員() / 非会員()
- ・ご連絡先：(TEL) _____ (E-Mail) _____ @ _____
- ・懇親会に 参加する() / 参加しない()

.....
この件に関するお問い合わせは、北海道NPOバンク事務局でお受けしております。(担当：北村)

kitamura@npo-hokkaido.org 電話 011-204-6523 FAX011-261-6524



今年もやります！3年目のコミュサポ事業

札幌広域圏（石狩支庁管内）8市町村で地域サポーター団体とホームページ作成希望の140団体が参加して、コミュサポ事業を2年間展開してきました。今年度も地域のまちづくりを目標に、無料のホームページ作成ソフト「WEB Maker」をツールとして札幌広域圏組合の「コミュサポ」サーバーに市民活動団体のホームページをアップする事業です。

札幌広域圏管内（札幌、石狩、当別、新篠津、江別、北広島、恵庭、千歳の8市町村に所在する市民活動団体対象）の市民活動団体のみなさまへ。

地域で活動するボランティア、市民活動グループ、NPOなどの皆さん、自分たちの活動をホームページで紹介してみませんか？「でも、詳しい知識がないからなあ…」そんな心配はいりません。札幌広域圏組合の「コミュサポ」が、皆さんのホームページ運営を応援します。

コミュサポに参加し、団体のホームページづくりませんか！ **サーバー利用料:無料**

「コミュサポ」参加団体を募っています。現在140団体がコミュサポサイトを活用しています。管内のより多くの市民活動団体が参加することによって、団体同士の横の連携も模索しています。是非ご参加ください。

▶ **募集・利用料** 募集团体数:100 団体 **無料**

▶ **参加申込** 「参加団体登録申請書」を参加団体の住所がある各市町村の担当窓口に、直接持参、FAXのいずれかの方法で提出してください。

「参加団体登録申請書」は各市町村の担当窓口で配布しています。また、北海道NPOサポートセンターホームページからダウンロードすることもできます。各市町村の提出窓口は、札幌広域圏組合事務局までお問い合わせください。

▶ **受付期間**：2006年5月10日より--100団体になるまで！！

札幌広域圏組合 〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目明治安田生命札幌北一条西ビル3階
TEL：011-290-1313 FAX：011-290-1311

北広島市『NPO立ち上がり&運営支援セミナー』こんな方にお勧め！

NPO・市民活動に興味があるが、どうしたら実現できるのだろう

「NPO法人・市民活動団体」として活動しているけど、法律や会計のことが複雑で

基礎知識を中心とした分かりやすい講演とNPO法人立ち上がりまでの

ワークショップなど5回シリーズ（各セミナーとも受講無料）

回数	日程	時間	内容
1	9/21(木)	18:30 ~20:30	<基調講演>「NPOは難しい!!~NPOの基礎知識~」 講師 樽見弘紀氏（北海学園大学法学部教授/日本NPO学会理事/北海道NPOバンク理事）
2	9/28(木)	18:30 ~20:30	<基礎編>「NPO/市民活動の役割と課題」 講師 小林董信氏（北海道NPOサポートセンター事務局長/札幌学院大学大学院客員教授）
3	10/5(木)	18:30 ~20:30	<運営編>「NPO法人の運営と届出・登記などの諸手続」 講師 小林董信氏（北海道NPOサポートセンター事務局長） 大滝和子氏（司法書士/NPO推進北海道会議理事）
4	10/12(木)	18:30 ~20:30	<会計・税務編>「NPO法人の会計と税務の基礎知識」 講師 小林董信氏（北海道NPOサポートセンター事務局長） 瀧谷和隆氏（税理士/NPO法人APIジャパン理事長）
5	10/19(木)	18:30 ~20:30	<応用編>ワークショップ形式「課題解決!~連携と協働」 講師 小林董信氏（北海道NPOサポートセンター事務局長）

開催場所 北広島市芸術文化ホール活動室

対象 NPO・市民活動などに関心をお持ちの方、NPO法人格取得を考えている方、NPO法人の方

定員 9/21・9/28は50名程度。10/5・10/12・10/19は30名（先着順）

申し込み 各セミナーとも開催日の7日前までに電話にて下記までお申し込み下さい。全セミナーの参加も可能です。

問い合わせ 北広島市役所 市民協働推進課（電話 011-372-3311 内線 637）

**サポセンスタッフの
落書きコラム
2006年度 その4**

先日、携帯電話が故障したので修理に出し、代替器を貸してもらいました。借りるほど、普段は携帯を使うというわけでもないのですが、なければいけないで落ち着きません。10年くらい前なら、携帯なんてなかったし、電話といえば固定電話や公衆電話だけでした。

さて、ここ数年前から「新たな公共」という言葉が使われ始めています。新たな公共と聞いてピンと来る人もいれば、そんなのあるわけないという人など様々ですが、言葉が変化していくように、世の中のあらゆる事柄は、時代の流れによって変化していくのは世の常ではないでしょうか。

冒頭、携帯電話の話を持ち出したのも例外ではなく、携帯電話もある意味では新たな公共の一躍を担っていると思っています。緊急時や災害時はもちろん、GPSでの居場所確認、高齢者向け機種開発など、企業間競争の結果がもたせませんが、機能が進化するにつれ、今や無くてはならないものになりつつあります。

その昔、電話といえば固定電話のみで、事業者はNTTだけであり、その昔は電電公社であり、もっとさかのぼると郵便局が電話交換を担っていた時代がありました。郵便局で電話交換が行われていたなんて、中高年の人でも知らない人が結構いるかと思えます。電話はまさに官が提供する公のサービスでした。

そして、電話と同じく、5現業3公社と呼ばれる国営企業がありました。ゴゲンウギョサンコウシャ？と思う方もいれば、懐かしいなあと思う人もいるでしょう。ちなみに、5現業とは、郵政、国有林野、造幣、印刷、アルコール専売、3公社とは、国鉄、専売公社、そして電電公社。(日本交通公社は違います(笑))今の20歳以下の人に「こくてつ」と言ってもわからない人がいると聞くと、年の差を感じてしまいます。私もオジサン仲間入りかぁ・・・。

と感慨にふけっている場合ではありません。この5現業3公社も今ではすっかり様変わりしてしまいました。時代の流れでやむなく変わったもの(変わりつつあるもの)、労働争議をやりすぎたものなど理由はいろいろあるでしょうが、いつまでも普遍的なものというのはなかなかないですね。求められている“公共”もまた、同じなのではないでしょうか。

現在、行政が担っている公共を否定するつもりは毛頭ありませんし、古いと一蹴するつもりもありません。ですが、その一方でそれだけでは市民のニーズに対応できない現実があります。行政が担う“公共”とNPOなどの市民セクターや企業が創り出す“新たな公共”が、協働という概念によってガッチリ結びつく。

それが望まれる今後の社会のあり方なのではないかなぁ・・・と、ここまで書いておいてちょっと自信なさげに終わってみたりして。
(松本公洋)

9月のNPO会計講座 ご案内 9月21日スタート

《決算書作成アドバイス付き》～短期集中4回10時間講座

毎回ご好評いただいている会計講座のご案内です。簿記の基礎を学び、NPOならではの勘定科目を使った仕訳(振替伝票記入)等の練習問題をやってみます。講習時に使用する会計ソフトは「会計王 NPO Limited」です。ソフトの扱い方を中心にパソコン入力もたくさん練習します。最終的には決算書を作成し、財務諸表の見方などを学びます。

今回は講習中に、個別質問に対応する時間を用意して、それぞれの団体の事情に合わせたアドバイスができるようカリキュラムを組んでいます。ご参加ください。

日時/第1回 9月21日(木) 第2回 22日(金) 第3回 29日(金)いずれも18:00～20:00

第4回 30日(土)13:00～17:00 (合計10時間コース)

場 所/北海道NPOサポートセンター会議室(札幌市中央区南2条西10丁目 クワガタビル2階)

講 師/小沼 千佳子(北海道NPOサポートセンター会計担当) 定 員/8名(最少催行人員3名)

受講料/10,500円(税込み、初回納入)

締切り/9月15日(金)先着順。(定員になり次第締め切ります)

参加対象者/パソコンの文字入力、マウス操作がスムーズにできる方

問合せ・申込み/TEL 011-204-6523 FAX 011-261-6524

Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp 担当 小沼(おぬま)、神(じん)

主 催/NPO 法人 北海道 NPO サポートセンター

インド滞在記 その3

北海道NPOサポートセンター ボランティア
山上 千尋

次の日は最終目的地、デリーです。結局、バラナシでのごみ拾いはできませんでした。ガンガは聖なる力で浄化されているから、水が汚染されているなんて思ってもみないインドの人々も多いので、観光客が多いバラナシの地の利を生かして、外国人がボートでガンガを観光しながらごみ拾いもする、、なんてプロジェクトができればなあと思っているうちに、列車は6時間遅れでニューデリー駅に到着しました。だれも文句は言いません。デリーは前回のインド訪問で2ヵ月半過ごした場所です。3年ぶりでしたが、町並みもメインバザールもそんなに変化はなく、ただ、若者の服装や持ち物は大きく変わった気がしましたが、デリーの観光という意味では景気がどんどん良くなっているという感じはありませんでした。日本の技術やお金を使ったデリーメトロは開通していました。

デリーでは「飛んでけ！車いす」の会に紹介してもらった障がいのある子どもの施設を運営するNGOも訪問することができました。ちょうど、新しい施設を建てたばかりでそんなに多くの子どもはいなかったけれど、いろいろなプロジェクトを立ち上げて、積極的に障がいのある子どもとその親のエンパワーをしていこうという気持ちがとても伝わってきました。建物の中を丁寧に見せてもらうことができました。

さて、漸くお世話になった旅行会社と修行レストランへ行く時間がとれたのは、日本への帰国便に乗る日でした。時間もなかったですが、迷うことなくかつての職場(?)アシャラムさんのレストランへ行ってみると、まさしくアシャラムさんがいるではありませんか！お互いすぐにわかって、いつもの賄いカレーをいただきました。旅行会社の入り口はレンガでふさがれていたのが「やはり悪徳だったから...」という思いがよぎったとき、アシャラムさんが「旅行会社は場所が変わった」と教えてくれました。まったく。歩いて1分のところに、少しだけ大きくなった旅行会社があるではありませんか！その後、その旅行会社で空港までのタクシーを手配し、無事に日本へ帰ってきたことはいまでもありません。

今回のインド訪問は、時間はあまりなかったのですが、たくさんの人たちに出会い、話をして、影響を受けました。でも、もう少し滞在できたらとか、もっと深く知りたいということも、これまで以上に出てきたことは確かです。また数年内にはインドへ戻り、新たな報告をできることを願ってやみません。それまでは札幌を拠点にがんばっていこうと思います。だんにゃわーど・ふいのみれんげー（ありがとうございます・また会いましょう）（おわり）

「飛んでけ！車いす」 ホームページ	http://business4.plala.or.jp/tondeke/
Self Employed Women's Association ホームページ	http://www.sewa.org/index.asp
SEWA BANK ホームページ	http://www.sewabank.org/
サンカトモーチャン財団 ホームページ	http://members.tripod.com/sankatmochan/

北海道NPOバンク融資申込みのお知らせ

第16回融資 申込開始 8月2日～締め切り 8月17日(木)

融資実行 9月下旬以降

《おねがい》

サポーター便りに掲載を希望する手記・情報がありましたら、下記問い合わせ先までご連絡願います。また、NPOバンク事業組合にご加入の方で、住所等に変更があった場合はお手数ですが事務局まで御連絡ください。

NPOバンクに対する問い合わせ先・資料請求先

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目 クワガタビル2F 北海道NPOサポートセンター内

TEL:011-204-6523 FAX:011-261-6524

npobank@npo-hokkaido.org http://npo-hokkaido.org/bank_hp/index.htm

日本NPOセンター主催のNPO組織力強化セミナーが札幌で開催されます。

NPOブラッシュアップセミナー 9月下旬開催予告

東京の日本NPOセンターが昨年、福岡、徳島、金沢、横浜で開催し好評を博したNPOブラッシュアップセミナーが、9月～10月に札幌にやってきます。今から予定にいられてください。講師陣は以下の方々です。

実吉 威（特定非営利活動法人市民活動センター神戸 理事・事務局長）
 新田 英理子（特定非営利活動法人日本NPOセンター 企画主任）
 紅邑 晶子（特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター常務理事・事務局長）
 松本 美穂（特定非営利活動法人市民フォーラム21・NPOセンター 事務局次長）

■NPOブラッシュアップセミナー 北海道編

地域社会において、市民活動団体の活動への期待は高まり、果たす役割もますます大きく、重要になってきています。そのような中、それらの“市民の声”に responding していくためには、組織としてのガバナンス力（統治力）が求められています。“ガバナンス力”といえど支配的な感じも受けませんが、個々の団体のミッションを遂行する上で、組織内外に対する責任のありようを明確にしつつ、市民の主体的な参加や合議等による運営など、民主的な組織運営に裏打ちされた組織運営力のことだと考えます。そこで、地域でキャパシティービルディング（組織力強化）に取り組まれておられる団体が、より充実した活動を進められる上での一助となるように、本事業を開催したいと考えております。

日 時：第1回 2006年9月29日（金） 13:30～18:00 [4回連続講座]
 第2回 2006年9月30日（土） 10:00～15:30
 第3回 2006年10月13日（金） 13:30～18:00
 第4回 2006年10月14日（土） 10:30～16:00

会 場：道特会館 5階大会議室（札幌市中央区北2条西2丁目26）

参加対象：NPOの理事および中堅事務局スタッフ定員 20団体（40名程度）
 （セミナー後、より実践で活用いただくために、各団体から2名ご参加ください）

参加費：1団体 10,000円（2名：4回参加）

主 催：日本NPOセンター ブラッシュアップセミナー企画委員会

共 催：特定非営利活動法人北海道NPOサポートセンター

協 賛：フィリップ モリス ジャパン株式会社

第1回シルバー居酒屋サミットが北見で開催されました

シルバー居酒屋を、コミュニティビジネスモデルとして、道内各地で展開する動きを推進するために取り組みを開始している団体が北見に集まり、高齢化社会におけるシルバー居酒屋の役割を議論し道民へのPRの場とすることを目的に、北見のNPO法人自遊人の主催で、7月29日北見市内で開催されました。60名が参加し、午後3時開会。第一部の講演会は、「シルバー居酒屋とコミュニティビジネス」と題して札幌学院大学大学院の河西邦人教授がPPTスライドとビデオを使い、解りやすく講演されました。続いて北見で先駆的にシルバー居酒屋を運営しているNPO自遊人の佐藤弘昌前理事長が事例報告。パネルディスカッションに移り、「全道に広げ、シルバー居酒屋の輪」と題して話題提供されました。パネリストは下記の通り。札幌の「アラ！あずましい会」長谷川義一代表理事、NPOサポートはこだて丸藤競事務局長、北海道NPOサポートセンター小林董信事務局長、稚内新エネルギー研究会長谷川伸一代表、コメンテーター北海道コミュニティビジネス協議会河西邦人事務局長、コーディネーター北見NPOサポートセンター谷井貞夫理事長。第2回での再会を約し、終了しました。関心の高いテーマで、参加者は、旭川、釧路、網走など道内各地から来ていました。シンポジウム終了後、繁華街で自遊人が運営する、シルバー居酒屋を見学しました。

広い店内で充実したメニューがあり、更に各種講座事業も提供しているといったNPOらしさを備えており、今後に期待が持てる印象を受けました。（小林）

写真（上）挨拶する自遊人前理事長。（中）自遊人の看板。

（下）店内にて。河西教授と新理事長。



いよいよ「江別市民活動センター」がオープンします。 旧野幌消防署建物（JR野幌駅そば） 9月2日(土)・3日(日)オープニングイベント開催！



2004年に結成された「えべつ市民活動・協働ネットワーク懇談会」(市内の約50の市民活動団体が参加)では、市民活動を行う「場」の必要性を高く評価し、江別市長に対し「場」の提供を含め、市民活動促進について提言を行いました(2005年9月)。これを受けて、市も積極的に協働事業をすすめる観点から使用していない旧野幌消防署建物を提供することとし、今年度、改修費を予算計上するに至りました。こうして生まれたのが、この「江別市民活動センター」です。「ネットワーク懇談会」の中から、「場」の運営を責任を持って行うためこのほどNPO法人「えべつ協働ネットワーク」を設立しました。(NPO法人 えべつ協働ネットワーク 代表理事 白鳥 健志)

<市民活動センターとは?>

市民の方が気軽に利用できるよう、交流サロンを開設し、喫茶コーナーや自由にお使いいただけるパソコンを設置するなど使い勝手を工夫しています。
また、市民活動団体向けレターケースの設置や書類等を保管する貸しスペース(90×90×45cm) コピー機の設置、大小2つの時間貸し会議室を設けております。
また、約20台は駐車可能なスペースも確保し、市民活動情報の交換や交流、活動を進めるための知識を得る場として、江別の地域文化の向上と、まちづくりの育みに役立つよう、次の事業を行います。

<市民活動サポートセンターで行う事業>

交流促進事業
意見交換会、パネル展等
情報提供・活動支援事業
ニュースレターの発行、ホームページの作成
活動団体の活動内容ファイルの作成
研修会、勉強会、相談業務等
人材育成事業
市民活動、ボランティア養成講座の開催
活動促進事業
協働事業のコーディネート

<江別市民センターオープニングイベント>

市民活動センターの開設にあたり、9月2日(土)、3日(日)の両日、オープニングイベントを行ないます。

- <目的> 1) 催し物を通じて、市民活動の実態をお互いに知り、かつ市民に知ってもらう。
2) 「市民活動センター」の設立を、市民・市民活動団体・企業のみなさんに知ってもらい、利用してもらうためのいわば「センターのお披露目式」とする。
たくさんの人が来場し交流する、楽しさ溢れる催しとしたい。

<日程> 9月2日(土)

10:00~14:00 フリーマーケットの開催
10:30~11:00 オープン式(市長を招いたテープカット等) 1F 交流スペース
11:00~12:00 活動発表<市民活動見本市>(1F 交流スペース)
12:00~13:00 ランチ交流会(1F 交流スペース) 小川市長も参加します。
13:30~15:00 市民活動事例紹介ワークショップ

9月3日(日)

10:00~14:00 市民活動団体「秋の感謝祭」の開催
10:30~12:00 講演会
13:00~15:00 市民活動事例紹介ワークショップ

フリーマーケット以外の上記連絡先 江別市 企画政策部 市民協働推進担当

電話 011-381-1047 FAX 011-381-1071

江別市民活動センター 〒069-0813 江別市野幌町30番地1 Tel・Fax: 011-385-2930(仮設)

「現在、オープン後の以下の項目について手伝っていただいている方を探しています。

・イベントや勉強会等の企画 and 実行スタッフ、・会議室等のセンター業務の受付、案内、・建物清掃などのセンターの管理事務、などが手伝っていただきたい項目です。人と人との交流やお世話役が好きな人、大いに結構です。今年度は、無給ボランティアに近い形となりますが、将来を見据えて相談させていただければと思っています。短時間的な関わりでも結構ですので、白鳥まで声をかけてください」

栗山町がまちづくりワークショップを開催します。

栗山町総合計画策定に向けた町民ワークショップ~まちのお悩み解決ワークショップ ~のご紹介

目的 このワークショップは、次期(第4次)栗山町総合計画策定に向けた町民参加の取り組みの一環として、住民意見を把握するために実施されるものです。実施にあたっては、町民会議「わがまちくりやま会議」との協働により実施します。

日程/全回共通 18:30~21:00(2時間30分) 場所/カルチャープラザ研修室

8月10日(木)地域のセーフティーネット~地域防災を切り口に考える~ 杉岡直人北星学園大学社会福祉学部教授

9月29日(金) 地域の魅力を高める~交流・移住促進を切り口に考える~

10月26日(木) まちづくりは「人」づくり~地域教育を切り口に考える~

12月4日(月) 町ぐるみの連帯~新しい自治の仕組みを考える~

参加人数 25~30名程度(1グループ6~7人程度で4グループ)

北海道NPOサポートセンターでは、栗山町からの依頼でこのWSのお手伝いをします。自治の取り組みの一つとしてご紹介致します。この件に関する問い合わせは、栗山町まちづくり推進課まちづくり推進係まで。0123-72-1111

介護新聞

**北海道発信の現場ニュース
中央情勢もタイムリーに**

情報提供は編集部へ
電話 FAX 011-221-8611
購読の申し込みは 011-221-7777
Eメール kaigo@medim.co.jp

北海道NPOサポートセンターは、グループホーム(GH)で暮らす認知症高齢者の家族が遠方に住んでいても、いつでも気軽に最新の介護記録をインターネットで閲覧できる、介護記録遠隔ネットワークシステム「Care Record Network」(ケアレコネット)構築を進めている。10月からモニター事業を行いシステム検証、19年度から道内事業者対象に本格的運用を目指す。

遠方に住む認知症高齢者の家族

インターネットで 介護記録閲覧

「ケアレコネット」構築へ

仕組みは、これまでと同じ書式でGHネットワーク環境の整ったパソコンを用意する

名とパスワードによる認証とし、インターネット上のやりとりはすべて暗号化(SSL通信)。GHはスキヤナ、家族はインターネット環境の整ったパソコンを用意する

モニターGH募集

スタッフは介護記録を記入。スキヤナーで記録を読み取りデーター(PDF)化、サーバーに保存する。個人情報は保護し、閲覧は家族のユーザーがメリット。家族は

北海道NPOサポートセンター
有ツールなどとして考えている。ケアレコネットは福祉医療機構の助成を受け開発。運営実行委員会を設置し、委員長に北星学園大の杉岡直人教授が就任した。現在、モニターGHを募集している。道内五十事業所予定しており、八月に説明会を開催する。問い合わせは011-204-6523、ホームページhttp://www.kaigo21.jp/care。

北海道NPOサポートセンターは、平成18年度長寿社会福祉基金の助成を受け、「介護記録遠隔ネットワークシステム構築事業」を実施しております。この事業が、「介護新聞」記事で取り上げられました。グループホームに入所されている認知症高齢者のご家族で遠隔地に居住のご家族に役立つ仕組みづくりを考えております。

この取り組みに関するご意見、ご要望をお聞かせください。

北海道NPOサポートセンター
「ケアレコネット」事務局
電話 011-204-6523
FAX 011-261-6524

特定非営利活動促進法に基づく申請受理数および認証数、不認証数等

内閣府ホームページから <http://www.npo-homepage.go.jp/>

全国の申請受理数「内閣府・北海道含む」 5月31日現在 (内閣府のホームページ)	受理数	認証数	不認証数	解散数
	28670	27071	237	737
道内の申請受理数 5月31日現在 (北海道)	受理数	認証数	不認証数	解散数
	1108	1053	0	27

北海道内のNPO認証状況は道庁HP <http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-bssbk/npo.index.htm>

認証数の多い県 東京 4904 大阪 2061 神奈川 1660 北海道 1053 千葉 1052 兵庫 952 埼玉 909
愛知 873 福岡 852 京都 694 静岡 587 長野 565 群馬 451 宮城 402 広島 399 三重 392
岐阜 367 新潟 364

北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」一覧 (単位:円,税込)

北海道NPOサポートセンター会員に対するサービス事業です。

詳細については個別にご相談に応じますのでお気軽にお問い合わせ下さい。電話 011-204-6523

2006.6.1 改定

サポートの内容	詳細	規格・単位	基本料金
NPO法人申請手続 法人申請は時間がかかります。(4ヶ月~6ヶ月)	相談・書類作成等アドバイス(初回相談無料)	基本料金	21,000~
NPO 法人代表印	登記に必要な法人代表者印鑑です(送料別)	1本	11,000
身分証明書作成	ラミネートを使った身分証明書を作成します。	1枚	210
簡易印刷機(リソグラフ) 使用料金 黒インク印刷のみ (カラー印刷、製本等は 良心的な印刷所を紹介)	予約が必要です。詳細はご相談下さい。 基本料金は製版1枚、紙代込みの場合です。 (厚紙や色紙は少し高くなります) A3まで印刷可、10枚以上~ (両面は片面の倍)	片面 B5 1,000枚	2,738
		片面 A4 1,000枚	2,738
		片面 B4 1,000枚	3,438
		片面 A3 1,000枚	4,838
名刺作成	パソコンで名刺を印刷します。(100枚単位) 片面初版代:315円、 両面初版代:525円が別途かかります。	片面 カラー	1,470
		片面 白黒	1,050
		両面 カラー	2,310
		両面 白黒	1,890
横断幕・ポスター	パソコンで長尺紙(幅42cm)に印刷します。	片面のみ	1,575~/m
シール	NPOのロゴマークシール 1シート	大5枚、小10枚 各	210
日常会計業務支援	パソコンで、伝票入力から決算書作成まで実施	基本料金(1仕訳)	63~
組織運営相談 会計相談・経営相談	個別にご相談をお受けします。		

上記の表以外に、不動産売買・賃貸、税務申告、登記書類作成、損害保険関係について、NPOサポート専門家会議メンバー等による相談を随時受け付けております。(NPOサポセンスタッフが聞きし専門家にお伝えします)

法人認証申請書類、登記書類、会計書類、税務申告、介護保険申請等は、必要に応じて専門家のアドバイスをいただいています。弁護士、司法書士、社会保険労務士、行政書士、公認会計士、税理士、損害保険専門家、不動産鑑定士、不動産専門家、建築士、社会福祉士、ファイナンシャルプランナーなどの専門家の協力を得ています。

NPO推進北海道会議 / 北海道NPOサポートセンター / NPOバンク / NPO越智基金

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階
電話番号011-204-6523, FAX番号 011-261-6524
通常業務時間10:00~18:00(土、日、祝日は休む時があります)

さっぽろ介護NPO支援ネット / 北海道NPOサポートセンター分室

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階
電話番号 011-242-4333, FAX番号 011-281-8807
通常業務時間 9:00~17:00(月~土)(水、日、祝日休み) **水曜はお休みです**

引越し・旅行・車検のことなら**「札幌」はこび愛ネット**をご利用ください!ご存知かもしれませんが、飛んでだけ!車いすの会をはじめ札幌チャレンジなど10団体ほどが参加しているもので、札幌さんの商品を利用して、「NPOサポセンに還元して!」と言うと商品代金の5%が還元される仕組みです。**どうやって利用するの?**申し込みはとても簡単。下記の「はこび愛ネット」推進事務局にお電話ください。インターネットからの申し込みもできます。利用サービスは、引越し、旅行(札幌トラベル)、車検・自動車修理(札幌自工)と文房具(札幌商事)などの購入です(一部対象外あり)。ぜひご利用ください。

問い合わせ・申し込みは 札幌「はこび愛ネット」推進事務局

TEL(011)251-4111内線250番 FAX(011)231-7063

書籍案内

**疾走12年
アサノ知事の改革白書**

浅野史郎著 岩波書店 ISBN4-00-023421-8

定価(本体1800円+税)

著者は、昨年11月まで3期12年宮城県知事。
現在は、宮城県社会福祉協議会会長の傍ら慶応大学教授を兼務している。

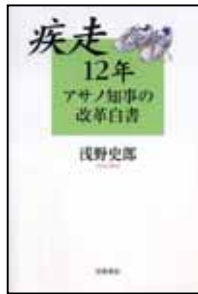
「これにて12年の知事業を卒業します」。
アサノ知事は、四選は堅いと思われていた矢先、突然の不出馬宣言をした。

ユニークな三回の選挙、議会との激しい応酬、
障害者施設解体宣言の衝撃、県警との報酬費をめぐるバトル、
楽天ゴールデン・イーグルス誘致の内幕……。

アサノ知事は、「宮城県の恥を雪ぎ、
県民の誇りを取り戻す」
不退転の決意で、県政に取り組んできた。

地方発の改革を断行して県民の活力を掘り起こし、本物の民主主義を根付かせるとの強固な信念に貫かれ、
喜怒哀楽に溢れた12年間の知事業を書き下ろした記録。
(本のカバーより)

【書店でお求めください】



北海道を元気にする、ボランティア検索サイト

ボランティアしてみようかな・・・と思ったら
まずはボラナビ.netへ！

イベント情報も盛りだくさん。
掲載のご依頼はサイトから。

<http://www.npohokkaido.jp/volunavi.net/>

NPO 法人ボラナビ倶楽部 Tel/011-242-2042 Fax/011-242-2043
E-mail volunavi@npohokkaido.jp

NPOな...

介護NPOの皆様へ

福祉有償運送車両マグネットシートができました。(福祉有償運送を行うには、使用する車両の両側面に「団体名」及び「有償運送車両」と表示しなければなりません)

- ・福祉有償運送車両
- ・事業所名入り福祉有償運送車両

1枚1,200円～3,960円 6種用意しました。発注から納品まで1週間ほどかかります。(通常より安価)
詳しくは、さっぽろ介護NPO支援ネットまで。

さっぽろ介護NPO支援ネットは、昨年の6月30日に法人スタートし1年が経過しました。7月21日行われた第1回通常総会には、正会員総数17名のうち14名が出席して、無事議案が承認されました。総会後の懇親会でもいろいろ意見交換ができ、楽しいひとときを過ごしました。

NPO法人さっぽろ介護NPO支援ネット

介護に関わる情報提供、事業所支援、利用者への相談対応、研修・調査事業等を実施しています。

【業務日】月曜日～土曜日(祝日、日曜、水曜お休み)

【業務時間】9時～17時

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8F
TEL011-242 4333 FAX 011-281-8807
E-mail sapporo-kaigo@npo-hokkaido.org

書籍案内

『NPOの参考書』

NPO法人向け諸届け出ガイドブック
事務所に1冊必携のマニュアルです。

- ・設立登記(法務局)
- ・登記完了届(道庁)
- ・変更登記(法務局)
- ・事業報告書等の提出(道庁)
- ・任期満了に伴う役員の変更(法務局と道庁)
- ・任期途中の役員の変更(法務局と道庁)
- ・事務所移転(法務局と道庁)
- ・定款の変更(法務局と道庁)

諸届ひな型のCD付き

定価 2,100円(税込)



あるNPO法人が札幌法務局へ登記に行った際、この参考書をみせると、ある登記官より「とてもよく出来ている!」との評価をいただきました。

たいへんよくできました

【問合せ】

北海道NPOサポートセンター
TEL 011-204-6523
FAX 011-261-6524
E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

情報BOX



北海道NPOサポートセンターでは、札幌市からの委託を受けて、昨年度「商店街とNPOの連携のあり方」について検討しました。その一環として「さっぽろ商店街元気計画」NPOとの連携のススメ」というパンフレットを作成しました。ご希望の方に配布しています。

A4判 2つ折り
送付ご希望の場合、送料等実費をご負担いただきます。

在宅支援「お手伝いネット」データベース作成のための調査協力をお願い

NPO法人「さっぽろ介護NPO支援ネット」は、独立行政法人福祉医療機構の助成をうけて標記事業を実施することとなりました。この事業は、**介護保険制度の枠外のサービス**をデータベース化して公表することにより、介護支援専門員や利用者により多くのサービス情報を提供しようとするものです。

全国介護支援専門員連絡協議会においても、利用者の自立支援に向けて制度枠内外のサービスを組み合わせて介護計画を立てることが求められており、今後枠外のサービス情報がますます重要となっております。

紙媒体とウェブサイト上での情報公開を予定しており、紙媒体については、各市町村の役所・役場に配置の予定です。ウェブサイトについては2006年11月頃のサイトオープンを目指し、自治体ホームページにもリンクを予定しております。

【事業の必要性】 改正介護保険では予防介護に重点をおき、個々の自立目標に基づいてあらゆるサービスを組み合わせることでプランニングすることが要求されるため、従来の制度内でのサービスだけでは足りなくなります。

ケアマネージャーによっては現状でも制度外でのサービスを組み合わせることで利用者の自立促進と生活の質の向上に配慮しているケースもありますが、現状では「サービスを選ぶ」という点において、ケアマネージャーにとっても利用者にとっても、情報が十分ではありません。また、ボランティア団体など小さいけれどスキルの高いスタッフが揃っているところもあり、そういう貴重な社会的資源を有効に利用すべきです。

【事業の目的】 介護保険制度枠外のサービスを実施している団体を集約し、ウェブサイトの制作を行って、利用者及び事業者が地域やサービス内容によって自由に団体を選べるようにしたい。これによって公的なサービスだけではカバーできない事柄や急な人手が必要な時、ちょっとし

た生活の補助などを依頼できる仕組みがあることは、利用者の生活のリズムを整えるために非常に重要であり、心強い味方となり得ます。

現在、データ作成のため、指定外サービス情報を求めています。介護保険枠外でたすけあいサービスを行っている団体やボランティアによる生活支援を行っているグループの情報をお知らせください。

【問合せ・連絡先】

特定非営利活動法人 さっぽろ介護NPO支援ネット
TEL 011-271-0882
FAX 011-261-6524 (担当: 東川)

この事業は、WAM(福祉医療機構)の助成事業です。

助成金情報

インターネット環境にないNPOのみなさまへ

最近の助成金は、募集要項や応募用紙をインターネットから取得(ダウンロード)する方式が増えています。また、さまざまな助成金情報をインターネットから取得することができます。

北海道NPOサポートセンターでは、インターネット環境にないNPOのために、

IT推進NPOの紹介 パソコンの導入設定・インターネット環境整備支援 助成金情報取得支援/助成金申請サポートを行っています。(地域によって対応できない場合があります) 詳細はお問い合わせください。

電話 011-204-6523 (担当: 畑)

下記の助成金情報については、各助成元からの募集要項及びインターネットからの取得情報(抜粋)です。

～札幌市が実施している市民活動を対象とした助成制度をまとめました～

(募集開始時期・申し込み方法の詳細については、それぞれの募集担当課に直接お問い合わせください。)

【実施部局(区)別】

- 保健福祉局 札幌市地域福祉振興助成金、ヘルシーコミュニティ促進事業
- 環境局 生ごみ地域内循環活動支援事業助成金、市民スキー山及びスケート場設置・運営補助
- 経済局 コミュニティ型建設業創出事業
- 観光文化局 舞台芸術創作活動支援事業、札幌市芸術文化振興助成金、札幌市スポーツ振興基金助成金
- 中央区 中央区まちづくり活動支援事業
- 東区 東区まちづくり活動助成金
- 豊平区 とよひら街づくり団体事業助成
- 清田区 清田区まちづくり活動助成金
- 南区 南区まちづくり活動助成金
- 西区 西区まちづくり活動助成金
- 手稲区 手稲区市民活動助成金

【募集時期別】

- 4月 ヘルシーコミュニティ促進事業、札幌市スポーツ振興基金助成金、西区まちづくり活動助成金
- 5月 札幌市地域福祉振興助成金、生ごみ地域内循環活動支援事業助成金、コミュニティ型建設業創出事業、東区まちづくり活動助成金、とよひら街づくり団体事業助成
- 9月 中央区まちづくり活動支援事業

- 11月 市民スキー山及びスケート場設置・運営補助、札幌市スポーツ振興基金助成金
- 1月 舞台芸術創作活動支援事業、札幌市芸術文化振興助成金
- 随時 清田区まちづくり活動助成金、南区まちづくり活動助成金、手稲区市民活動助成金

【情報提供】市民まちづくり局男女共同参画・市民活動室
市民活動促進担当課 〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎13階
電話：011-211-2964 FAX：011-218-5164
E-Mail：shimin-support@city.sapporo.jp

～障害のある人たちの創作活動を支援する～
「エイブル・アート・アワード」2006年度支援先募集

<募集要項> A 制作支援の部
支援の対象 障害のある人たちの絵画や立体造形などの創作活動を行っているグループを対象とします。
支援金の額 総額50万円(1件あたり10万円)
支援金の使途 作品の制作に直接関わる費用。(絵の具、筆、紙、イーゼル、粘土などの購入費用)

B 展覧会支援の部
支援の対象 障害のある人で、絵画や立体造形などの創作活動を行っている作家を対象とします。

支援の内容 1個人または1グループの展覧会を開催。会場：ギャラリー・グラフィカ bis(東京・銀座)会期：2006年12月(6日間) <予定> 展覧会開催に関する以下の資金を負担します。*ギャラリーの借り上げ費用 *展覧会の企画全般(作品の選定・額装・展示などのご提案)を行うコーディネーターの派遣費用 *案内ハガキの作成費用、エイブル・アート・ジャパン関係者へのPR、マスコミへのPR *展覧会開催に関する人的支援(搬入・撤去作業、会期中のスタッフの配置)

締切 2006年8月31日(木) 必着
問合せ・応募用紙の請求・送付先
エイブル・アート・ジャパン 〒164-0003 東京都中野区東中野4-4-1 ポレポレ坐ビル3F (担当:太田)
TEL.03-3364-2140 FAX.03-3364-5602

大阪NPOセンター10周年記念特別アワード
【グランプリ】100万円(1団体)
【優秀賞】10万円(9団体)【奨励賞】3万円(10団体)

締切日:2006年9月5日
全国のNPO・NGOからテーマに沿った活動内容を募集、書類審査にて10周年にちなんで10団体が選考されます。
対象となる活動や事業 2005年4月以降の活動で、現在・将来を通して継続され、今後の成果が期待できるもの(例:ユニークな資金調達方法や会員募集方法、画期的な政策提言、自慢の事業など)

問合せ 特定非営利活動法人大阪NPOセンター
〒553 0006 大阪市福島区吉野4-29-20
大阪NPOプラザ201号
TEL:06 6460 0268 FAX:06 6460 0269
応募にはエントリー料2,000円必要。

大和証券福祉財団 第13回(平成18年度)
ボランティア活動等助成要領
(ボランティア活動助成とボランティア活動等に関する調査研究助成)

1. 第13回(平成18年度)ボランティア活動助成要領
応募資格 ボランティア活動を目的とした団体・グループ
学生・若者のボランティア活動も積極的に支援します。
(申込みに際しては、社会福祉協議会・共同募金会等の推薦を受けてください)
応募課題 特に在宅老人、障害児・者、児童問題等に対するボランティア活動

助成金 総額5,000万円(1件あたり30万円を上限)
(内、500万円は災害時ボランティア活動に対する助成)

2. 第13回(平成18年度)ボランティア活動等に関する調査研究助成要領
応募資格 特に問いませんが、研究委員会を組織してください。

応募課題 ボランティア活動・地域福祉に係る実践的モデル事業開発に関する研究等

助成金 1件あたり100万円を上限で3件
応募期間 2006年8月1日~9月15日 当日消印有効
助成対象期間 原則として2007年1月~12月の活動に対して助成

申込書請求 下記財団へ電話又はFAXにて請求下さい。
問合せ先 財団法人 大和証券福祉財団 事務局
〒103-8219 東京都中央区日本橋茅場町1-1-9
大和証券兜町ビル
TEL 03-3665-5147 FAX 03-3662-0495

読売光と愛の事業団/読売新聞社

第4回読売プルデンシャル福祉文化賞

【大賞】 3件賞牌と活動支援費各100万円
【奨励賞】 5件程度 賞牌と活動支援費各10万円
応募の締切 2006年9月30日(金) 当日消印有効
問合せ先

読売光と愛の事業団

「読売プルデンシャル福祉文化賞」事務局
〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1
TEL 03-3216-4921 FAX 03-3274-9033

NPO法人 NPO推進北海道会議

代表理事 田口 晃(北海学園大学教授)
杉岡 直人(北星学園大学教授)
杉山さかえ(北海道グリーンファンド 理事長)
事務局長 佐藤 隆

NPO法人 北海道NPOサポートセンター

理事長 杉山さかえ 事務局長 小林董信

NPO法人 北海道NPOバンク

理事長 杉岡 直人
NPOバンク事業組合 理事長 高木 晴光

NPO法人 北海道NPO越智基金

代表理事 田口 晃 事務局長 北村美恵子

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目
クワガタビル2F

TEL(011)204-6523 FAX(011)261-6524
E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp
URL http://npo-hokkaido.org/